

パターンⅡ【①②平均法・追加投入あり】

B工場では製品Yを製造し、製品原価の計算は累加法による工程別原価計算を採用している。次の【資料】に基づいて、第1工程月末仕掛品の材料費と加工費、第2工程月末仕掛品の前工程費と加工費、第2工程完成品総合原価を計算しなさい。

なお、原価投入額を完成品総合原価と月末仕掛品原価に配分する方法は、第1工程、第2工程ともに先入先出法を用いること。

第1工程の始点でA材料を投入し、第2工程を通じて平均的にB材料を投入している。当月の第1工程完成品はすべて当月に第2工程に投入される。なお、正常仕損は第1工程の終点で発生し、その処分価額は115,200円である。正常仕損費はすべて完成品に負担させる。

【資料】

1. 生産データ

	第1工程		第2工程
月初仕掛品量	1,800 kg (40%)	月初仕掛品量	3,600 kg (30%)
当月投入量	19,800 kg	当月投入量	18,000 kg
合計	21,600 kg	合計	21,600 kg
差引：正常仕損量	900 kg	差引：正常仕損量	—
月末仕掛品量	2,700 kg (50%)	月末仕掛品量	900 kg (40%)
完成品量	18,000 kg	完成品量	20,700 kg

2. 原価データ

	第1工程		第2工程
月初仕掛品原価		月初仕掛品原価	
材料費	2,332,800 円	材料費	1,455,840 円
前工程費	—	前工程費	8,496,000 円
加工費	786,240	加工費	1,283,040
小計	3,119,040 円	小計	11,234,880 円
当月製造費用		当月製造費用	
材料費	23,760,000 円	材料費	23,816,160 円
加工費	19,373,760	加工費	20,619,360
小計	43,133,760 円	小計	44,435,520 円
合計	46,252,800 円	合計	55,670,400 円

(注) ・ ( ) 内は加工費の進捗度である。

第 1 工程月末仕掛品の材料費

円

第 1 工程月末仕掛品の加工費

円

第 2 工程月末仕掛品の前工程費

円

第 2 工程月末仕掛品の加工品

円

第 2 工程完成品総合原価

円

## 参考メモ【総合原価計算表・仕掛品ボックス】

### 工程別総合原価計算表

(単位：円)

	第1工程		第2工程		
	A材料費	加工費	前工程費	B材料費	加工費
月初仕掛品原価					
当月製造費用					
合 計					
正常仕損品		-	-	-	-
差引：月末仕掛品原価					
完成品総合原価					

#### 第1工程仕掛品－材料費（A材料）

月初有高	
	当月完成
当月投入	
	仕 損 品
	月末有高

#### 第1工程仕掛品－加工費

月初有高	
	当月完成
当月投入	
	仕 損 品
	月末有高

第2工程仕掛品—前工程費

月初有高		当月完成	
当月投入			
		月末有高	

第2工程仕掛品—材料費（B材料）

月初有高		当月完成	
当月投入			
		月末有高	

第2 工程仕掛品—加工費

月初有高		当月完成	
当月投入			
		月末有高	